

●コンピュータ労働者に
ふさわしい賃金で、残
業を無くし、健康で文
化的な生活を。

●働く者が幸せになる平
和なコンピュータ社会
を。

こんぴゅうた

電算労

電算機関連労働組合協議会

〒110-0003

東京都台東区根岸3-25-6

タブレット根岸2階

TEL 03(5603)4570

FAX 03(5603)7265

URL <http://www.union-net.or.jp>



「スロウイズビュニティフル」 失われつつあるものを大切に!

電算機関連労働組合協議会 議長 小林寛志

組合員の皆さん、新年、明けましておめでとうございます。

皆さんがこの「こんぴゅうた」を手にする頃にはすっかり正月気分も去り、知らず知らずいつもの生活に戻っていることでしょう。

巷では不況の嵐が吹きすぎ、失業率も5%を軽々超えて6%までと僅かという最悪の状況にきています。このような中で私たちの業界は薄利で多忙のプロジェクトに忙殺されている人もたくさんいます。

予算枠が決められ納期もままならない状態で顧客のわがままから仕様変更が頻発し力関係から誰も止められない、さらには一括請負した仕事であるので残業すればするほど儲けは少なくなる、でも働かなくてはならない……。

さて平成不況が継続する中で、一昨年は「IT革命」が、昨年は「構造改革」が流行語になりました。残念ながら、流行語はその年限りでブームは冷めたらおしまい、

という性質を持っています。実際に米国では「IT革命」は実はバブルであったと言われ、そのバブルの崩壊がそのまま日本の大不況につながってしまいました。

二十世紀は「戦争の世紀」と言われ、来るべき二十一世紀は「愛と平和」の世界になるだろうといわれていました。残念ながら、テロに対する報復を錦の御旗にした巨大な軍需産業に支えられている米国の一部指導者層により、「新しい戦争」の時代に突入してしまいました。日本の政府もこれを千載一遇のチャンスとばかりに積極的に「戦争のできる国」を目指した危険な法律を昨年末には成立させてしまいました。

ところで、経済の不況も政治の右傾化も時代と共にそして時の指導者が替わることにより回復や揺れ戻しがあることは過去の歴史が物語っています。しかし、このままでは絶対に原状回復が不可能なものがあります。それが「地球環

境」です。二十世紀を特徴づけるもう一つは「再生不可能な資源の消耗と枯渇という問題」といわれています。

人間が生み出した産業システムは、百万年という時間をかけて貯えられた分の化石燃料を一年間で燃やしてしまっています。

例えば地球温暖化という問題は、地球に本来備わっている炭素循環サイクルが、化石燃料の燃焼によって出る膨大な量の二酸化炭素によって乱されたことを意味します。言い換えれば、二酸化炭素排出の速すぎるスピードが同化吸収を行う地球のゆつたりとした、「スロー」なペースを上回ってしまったこととなります。

この「地球」を「人間」に置き換えてみれば同じようなことがたくさんあることに気づくはず。今のままの「速さ」で全てが進めばやがて私たち人間も絶滅危惧種としてリストアップされる日もそう遠くはありません。

そのようにならないためにも、そろそろ「より速く」から「より遅く」スローな生き方に視点を変えて行く時にきているかも知れません。今年には「スロウイズビュニティフル」でゆつたりと生きましよう。

電算労二〇〇一年一〇大ニュース

東和システム支部、
会社、菅原社長の約束反故、
団交拒否相次ぐ

菅原社長から全権委任された総務統括部長が出席した昨年四月の団体交渉で会社は「会社のミスで生じた休日深夜残業代の未払金を遡及して五月に支払うこと」などの約束をしました。しかし、会社は組合との約束を守らず無視しました。このような会社の無責任で不誠実な対応に、総務統括部長に会社側交渉委員を管理、監督すべき責任者（菅原社長）の団交出席を強く、厳しく求め、統括部長は社長の出席を約束しました。それにもかかわらず、菅原社長は全権委任した統括部長と組合との約束を反故にし、団体交渉を拒否し続けています。

アルバス支部、新人事制度が始まる

アルバスでは、二〇〇一年四月から成果主義や裁量労働、業績給を機軸とした新人事制度が導入されました。

組合は、一貫して会社の荒っぽい提案に難色を示してきましたが、

「いたずらに引き延ばしている」という会社の批判と旧来の賃金制度での据え置き攻撃に合い、抗しきれませんでした。

制度の矛盾は年末の業績給に於いて、所属する部によって支給月数に一ヶ月もの差が出るなど、徐々に現れてきており、社員の帰属意識の薄れが懸念されます。

組合執行部は、導入後も、組合員の生活を守るために交渉を継続しています。

四月一日、コンピュータ・ユニオンで供給・派遣始まる

企業組合コンピュータユニオンでは昨年四月一日に一般労働者派遣事業の許可を取りました。それとともに供給・派遣の仕組みの基、派遣を開始しています。現在では企業組合で雇用されて働く人は三〇名になっています。

電算労ITマガジン
創刊一周年迎える

無料で読めるメールマガジン「電算労ITマガジン」は、二〇〇〇年十月の創刊以降、隔週火曜日の発行を続け部数と内容の向上

に成功しました。組合員以外の一般読者も多く、電算労の広報活動にも一役かっています。ITニュース、業界情報、コラムなどが好評です。

情報処理試験

解答例速報ページのアクセスが春・秋で十万件！！

長年の積み重ねで知名度が上がり、春四万件、秋六万件と順調にアクセス数を伸ばし、過去からの延べでは十八万件を越えました。アクセス数に比べては十八万件を越えましたが、春・秋で十万件！！

九月二十九日、MIC総会で
小林電算労議長がMIC副議長に選任される

昨年の九月二十九日（土）にMIC第四〇回定期総会が開かれました。そこで小林寛志議長がMIC副議長に選任されました。その他の役員として篠塚芳教事務局長がMIC事務局次長に、吉原英文事務局次長がMIC幹事に、横山南人事務局次長が会計監査にそれぞれ選任されています。

スタッフフォーラム支部結成

企業組合スタッフフォーラムは供給・派遣の仕組みに基づく派遣（主にOA機器操作）を行っています。ですから仕事に就くときは労働事業を営むコンピュータ・ユニオンか東京ユニオンのいずれかの組合に加入しなければなりません。コンピュータ・ユニオンではその受け皿としてスタッフフォーラム支部を作りました。現在組合員は十名になっていますが、すでに仕事が終わった人が多くまだ支部活動を行うには至っていません。継続して仕事に就けるような事業運営が必要です。

CCU関西、大阪で供給事業を開始

関西地区の労働事業は二〇〇一年七月から開始しました。かつて電算労の仲間だった方が、関西在住の組合員のために仕事が欲しいといってきたのが始まりです。続いて東京で労働事業に参加していた組合員が夫の転勤で関西に異動し、複数化がはかれました。今では大阪の組合員が、本部と連絡をとりながら営業活動を進めています。

事務所がないので人集めに苦労していますが、早く十人にして事務所を構えたいと考えています。

CCUが厚生労働省「しごと情報ネット」に参加

昨年八月八日（水）に厚生労働省の「しごと情報ネット」が公開されました。このサイトは求職者がより早く仕事に就けるよう支援することを目的としています。企業組合コンピュータユニオンも考情報提供機関として参加しています。また、このサイトの「関連情報リンク集」には労働組協ホームページがリンクされています。

根岸の里パソコン塾、
おかげさまで五年

一九九七年三月二四日に第一回講師会議を開きました。最初の一年間は試行錯誤しながら運営してきました。約一年後の一九九八年二月には専任講師として田中倫さんが常勤しました。電算労の皆さんの協力によるピラ配りの宣伝効果もあり順調に運営しています。今後はパソコン塾の本来の目的である組合員の専門技術の習得にも活用していきたいと思えます。

※CCU・企業組合コンピュータ
ユニオン

電算労ホームページがリニューアルされる

電算労ホームページ (<http://www.union-net.or.jp/~densan>) が昨年暮れにリニューアルされました。新たなコンテンツとして「電算労とは」と「こんぴゆうた(電算労機関紙)」が掲載されました。また、「電算労アンケート」に二〇〇一年アンケート、「イベント写真館」に左記の行事が新たに掲載されています。ぜひご覧下さい。

- 二〇〇一年一月十二日(金) 旗開き
- 二月二三日(金) 電算労・電算労組合同定期大会
- 三月三〇日(金) 経営申入れ
- 四月一五日(日) 情報処理試験解答例速報
- 四月一七日(火) JISA・経済産業省申入れ
- 七月二七日(金) ビアパーティー
- 十二月二二日(土) バドミントン&卓球大会
- 二〇〇二年一月十一日(金) 旗開き

The screenshot shows the homepage of Unionnet with a navigation menu on the left and a main content area. The main content area is titled '電算労 ITマガジン Select' and lists several articles under different categories: IT News, Technical Information, Industry News, Labor Union, Health, and Columns. Each category has a brief description of the articles available.

新春特別インタビュー

自信を持って戦い、そして勝つ

鹿島アントラーズ 柳沢 敦

ワールドカップを初めて見たのは九〇年のイタリア大会。中学一年生のときでした。個人的にはスピーディーな攻撃をするブラジル代表に注目していたんですが、決勝トーナメントの一回戦でマラドーナのいるアルゼンチン代表に負けてしまいましたね。もう少し見たいなあと思っていたので残念でした。そのときのブラジル代表メンバーの一人だったビスマルクと今チームメイトなのだから驚きです(笑)。

プラスαの個性を

二〇〇一年は日本代表の試合に出るチャンスが多く、内容的にも充実感がありました。一つひとつの積み重ねが自分にとって大切な経験ですし、自信につながっていますね。やはり試合に出なければ得られないものがたくさんある。だから、一分でも一秒でも長く代表ゲームに出たいですよ！選手ならば、みんな同じ気持ちでしょうけど。

とよくいわれます。でも、僕自身はそう思いません。相手を必要以上に恐れず、自信を持って戦えば、十分に勝つチャンスはあります。アフリカのチームだからといって萎縮せず、立ち向かっていくことが肝心でしょう。

W杯を最高の喜びの場に

ワールドカップが近づいていますが、個人的にはまだ気持ちの高ぶりなどはないですね。今から緊張しても仕方がないし、あえて考えないようにしているというところもありますけど。

大会の直前になって、最終的に代表メンバーが決まって……実際にはそれからでしょうね。

勝つチャンスはある

本大会でもアフリカ勢との戦いは予想されますから、事前のテストマッチができた意義は大きいですね。セネガルには0-2で負け、ナイジェリアには2-2の引き分けでしたが、いろいろな面で収穫がありました。

日本はアフリカのような身体能力の高いチームを苦手としている



二〇〇二
電算労アンケート
はじまる

電算労恒例のアンケートが開始されました。これは電算労がコンピュータ関連の職場で働く人たちに對して毎年行っているものです。春闘への要望や残業、健康、技術や派遣などの問題を把握してその年の春闘要求や経営申入れ、それから経営者団体のJISA（情報処理産業協会）や行政（経済産業省、情報処理振興課）への要請のための基礎資料とするものです。できるだけ多くの人に回答いただき今年の電算労の活動に反映させていきたいと思えます。現在インターネットからご回答いただけます。締切りは二月二十八日（木）です。ご回答をいただいた方の中から抽選で五名の方に3000円の図書カードをさしあげます。みなさんご協力をよろしく願います。

アンケートURL <http://bbs.union-net.or.jp/enquete02/>

二〇〇二電算労旗開き

お正月気分がそろそろ抜けてきた一月十一日（金）、午後七時より新年恒例の電算労旗開きが八組合（支部）、十九名が参加して開かれました。小林寛志議長「今年は『スロイーズビューティフル』をスローガンに」という新年の挨拶のあと西沢正典副議長（CCOM）による乾杯の音頭が始まりました。しばし



歓談の後それぞれの今年の抱負、そしてビンゴ。一位は小林議長、二位はソフトウェアセクションの田中倫さん、そして三位はアルバス支部の伊藤さん。以下七位までが賞品の図書券をそれぞれゲット。そのほかに全員に参加賞のボールペン（Dr. GRIP）が配られました。最後にCCOMの山木さんの団結がんばろうで締めくくりました。

電算労ITマガジン好評発行中
申込みは電算労ホームページより

2002年 新春クイズ まちがいは7つ



★締め切りは
2月末日★

右と左の絵には7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。正解者10名の方に図書券1000円分をさしあげます。ご応募お待ちしております。



前回の正解：①左の入口 ②スーツケースのラベル ③カーテン
④柱の矢印 ⑤右の壁の標記 ⑥ジェット機の尾翼
⑦手前の女性の襟元

当選者：八幡和義・谷田昌幸・寺西文乃・尾崎圭介
上原康裕（NCS）佐藤崇晶・芝克巳・伊藤貴則
香取弘子（CCOM）近藤和行（NJK）

宛先：〒110-0003

台東区根岸3-25-6

タブレット根岸2F

E-mail: densanro@union-net.or.jp